

一般質問

■能登中島駅と周辺の公共交通機関について  
市民の声を汲み取った答弁を！

質

現在、中島から七尾や穴水方面に向かうには、のど鉄道しかない。中島地域の住民にとっては鉄道インフラは重要な足である。また、能登中島駅は観光客が多く訪れる駅でもある。

利用者からの渡線橋の改善の声も多く、西岸駅や能登鹿島駅のような構内踏切などの設置ができれば、高齢者や体の不自由な方もっと利用しやすくなる。

コミュニティバスについても中島駅の乗車場所には待合室も屋根のある待合場所もなく設置の要望も多い。こういった市民の声を酌み取ることも市の役割と考えるのが希望の持てる答弁をお願いする。

答

のと鉄道沿線において、いずれのホームもバリアフリーにはなっていない。駅のバリアフリーを行うには、のと鉄道株式会社において能登中島駅だけではなく、全ての駅に対応していただかねばならない。

現在、のと鉄道では、国からの指示により線路や車両などの安全対策を優先して行わなければならない状況下であり、このような対応は極めて難しいと考えられる。

また、バスの待合所は、路線バス、コミュニティバスにかかわらず、必要なら基本的には地元町会など地域の方々に設置していただくようお願いしている。



山花 剛 議員 (無党派)



能登中島駅

一般質問

■アジア圏テレビドラマ国際会議について  
この会議にかける市長の思いとは？



永崎 陽 議員 (新政会)



能登演劇堂の演劇ホール

質

和倉温泉を会場に開催されるアジア圏テレビドラマ国際会議は、当初計画よりも多くの企業協賛が得られる見込みとなったことから、事業内容を充実し効果的な取組を進めるとのことだが、これは、七尾市はもとより、能登全域がハリウッドを超えるコンテンツ産業のメッカとなることを多くの企業が期待してふるさと納税で協力したという証だ。

改めて、七尾市がこの会議を主催する意義、さらには今後の活用の可能性等について、市長の強いメッセージを求む。

答

この会議の開催による誘客効果と経済効果、メディアによる海外向けのPRにより七尾市を世界に知ってもらう絶好の機会と考えている。さらに、今後、さらなる交流事業の拡大につながる取組のため継続的に制作会社と連携強化を図っていききたい。

会議には、音楽家や芸能関係者、ふるさと七尾にゆかりの著名人も招待する。歴史関係の劇等の脚本家とも連携して、能登演劇堂での舞台芸術を生かした演劇のまちづくりにもしっかりとつなげていきたい。このすばらしい機会を逃すことなく、能登全域と七尾を全世界に知っていたただけるような取組をしっかりと行っていききたい。

一般質問

■子どもの遊び場について  
いしかわ百万石文化祭2023について  
どのような準備体制で進めるのか？

質

①「休日の過ごし方及び遊び場のアンケート調査」の結果では、屋内施設と屋外施設ともに設備に物足りなさを感じている保護者が多いと感じた。この結果をどのように評価し、どのように活用していくかと考えているか市長の見解を聞く。

②いしかわ百万石文化祭2023は、市民総参加の意気込みが必要であり、さらなる市民の理解、協力、参画が必要だ。来年の本番を真に意義のあるものとするため、どのように取り組んでいくのが聞く。

答

①屋外の遊び場では遊具の更新や拡充、屋内施設の新設を望む声が多い。七尾市には様々な自然に触れ合う場所や七尾美術館がある。自然を生かして伸び伸びと七尾の子どもらしく感性を磨けるような遊び場を財政の許す限りで検討していく。

②観光産業分野の方の実行委員会への加入や、仲代達矢さん演出・無名塾による公演『等伯』の市民エキストラの参加など、市民参加型の事業を実施していきたい。



和田内 和美 議員 (無党派)



●アンケート調査の結果で多かった回答

- Q：休日に家族で外出する場所はどこが多いか？  
⇒ A：ショッピングや映画鑑賞が一番多く、次いで公園
- Q：出かける場所は、七尾市内が多いか市外が多いか？  
⇒ A：ほぼ同数、半々
- Q：遊び場に設置を希望する遊具は？  
⇒ A：滑り台やブランコ  
小学生は、体を使って遊ぶことができる遊具（アスレチック、クライミングなど）